

# 高校選抜大会でも、R G J 所属選手活躍



今年3月の西日本チャレンジロードレースで元気な走りを見せた下久保 初菜選手（前から2番目のピンクウェア）

「まず「高校選抜大会」とは？  
 高校生のうち自転車レース活動をしている選手には二つのパターンがある。一つは通っている高校に自転車部があり、さらにはその部が高体連（全国高等学校体育連盟・自転車競技専門部）に所属して、その部に所属する方法。もう一つは通っている高校に自転車部がない、もしくは高体連に所属しない自転車部であるというパターンである。

R G J 女子チームには三名の高校生選手が所属しており、そのうち武田和佳は埼玉県立川越工業高校、下久保初菜は京都府立北桑田高校という、それぞれ高体連所属の自転車部にも所属、練習などとしている。

（福本千佳は、私立履正社高校という自転車部のない高校に通っているため、R G J 提携クラブチームであるクラブシルベストで普段の練習管理などをお願いしている）

この高体連の所属自転車部に所属する高校生選手は、大きな二つの大会を特に目標にしながら練習をしている。一つは「全国高等学校総合体育大会」、もう一つは「全国高等学校選抜自転車競技大会」であり、今回記事として取り上げている「高校選抜大会」は後者である。

なお、「高校総体」と通称される全国高等学校総合体育大会には自転車競技に女子の出場種目がない。一方、この高校選抜大会では平成三年度大会より女子のロードレース競技を開催、平成八年からはトラック競技にも女子出場種目を設定するようになった。

・今年高校選抜大会は？  
 ＊三月二十二日（日）ロードレース  
 開催場所：グリーンパーク（北九州市若松区竹並バイパス）  
 距離：七km x 五周十六km 四十一km

日本の南側に位置する北九州市。しかし三月の後半でもまだ肌寒いようで、レポートを度々送ってくれたR G J 下久保（高体連・北桑田高校）は「初日二十三日のロードレースは雨が降って寒かった」という。しかし男子・女子ともに朝八時からという早朝スタートであったが、R G J 所属の二名は積極的にレース展開に絡んだようだ。ただ、雨のため滑りやすいコースだったようで、女子でも落車があり、R G J 武田（高体連・川越工業高校）も巻き込まれたようだ。一方で、下久保はスタート時のパレード走行時から最前方に



今年2月の東京都車連主催「ウインターロードレース」でも上位に入る活躍をしたR G J 武田 和佳選手。

陣取り、トップから約二分三十秒の三位でゴールを果たした。武田も落車のダメージを追いながらも九位でゴールをした。

＊三月二十三日（月）・二十四日（火）  
 開催場所：北九州メディアアードム  
 トラックレース

女子のトラック出場種目は六km スクラッチ、二km 個人追抜き、五百m タイムトライアル（T T）の三つ。そのうち、月曜日にスクラッチと個人追抜きの予選がおこなわれた。そして翌火曜日にそれぞれの決勝戦がおこなわれ、下久保が見事、六km スクラッチで二位に入った。下久保は「五百m T T は十三位と、まったく歯が立たなかったのですが、スクラッチで奇跡的に二位に入ることが出来ました。ロードレース三位とともに、これもご声援いただいている皆様のおかげでとれた成績だと思います。しかし、一位の人とか違う競技を見て、まだまだ自分の力の無さが実感しました。五百（T T）では精神的な弱さが出たと思えます」と記した。



で参加したR G J 松田 福本・堀（左から）

あとには海岸線を通って

## ツーリングイベント R G J が協賛の御礼 にガイド参加！

今後ぜひR G J の高校生三名の活躍にご注目いただければ幸いです。

先日も、三月二十九日（日）に千葉県富津市周辺を巡る本格的ツーリングシリーズ「B O S O ツーリング2009」の第一弾である「房総丘陵ライド」が開催され、Ready Go Japan より堀、松田、福本の三選手がガイドとしてツーリングに帯同し、参加者の皆様をご案内した。

今回のツーリングコースは全行程百km。午前八時半に富津市役所をスタートし、マザー牧場を経由して、戸原原ダム（市民の森）で休憩後に愛宕山、もみじロードを通って海岸線を走りつつ富津市役所にゴールというルーの心地よい風の吹く中、一掃いたたくガイド仲間とともに、約五十名ほどの参加者と元気に富津市役所の駐車場をスタートした。

走行コースの周辺は桜がちらほら咲き始め、さらに菜の花がキレイで目を楽しませ軽快に走る参加者たち。途中で休憩所を設け甘味補給。休憩所の弁当の（有）カクイチさんお手製助六弁当には、菜の花の胡麻和え！舌でも春を感じます。R G J の三人も参加者の皆さんと楽しそう。

ゴール場所でもある富津市市役所駐車場では、完走証のバッジを受け取って各自解散。でもR G J 選手たちは、参加者の皆さんを記念撮影。普段レース会場ではお会いできないツーリング・ファンと交流が出来、R G J 三選手とも大喜び！

なお、このB O S O ツーリングの次回回は、五月十六日（土）、十七日（日）の二日間にかけて開催される「ダブルセンチュリーライド」では八十三km かつ百六十km のお好きなコースが選べます（どちらか一日だけの参加もOK）こちらにもR G J 女子チームより選手とスタッフのツーリング参加費の五百円は、U C I 女子公認チームを目指す「Ready Go Japan」チームの活動費としてご協賛いただけます。皆様のご参加をR G J 女子チーム一同、お待ちしております！



春先の心地良い房総の山々をR G J とともに一緒に走った参加者の皆様。また房総ツーリングで会いましょう！

後半になかなか手がこたえのある登りの連続がありました。なんと九歳で参加した子が、ちゃんと峠を自力で走破してR G J 選手たちもビックリ！でも連れたちもこの立派な息子さんのお父さんか？峠越えのあとは、軽快な下りを満喫！



緊急トピック！ R G J 松田選手 月刊バイシクル クラブの表紙を飾ることに！

緊急トピック！ R G J 松田選手 月刊バイシクル クラブの表紙を飾ることに！

来る四月二十日に発売されます、メジャー自転車専門雑誌であります月刊バイシクルクラブ（出版社・発行）の表紙に、ナント Ready Go Japan の松田選手です！ ということをご指名いただきました。そこでこんな現場にはなかなかお邪魔できないかも？ というのでR G J 事務局が松田の付き添いというのを口実に（笑）撮影当日にお邪魔し、表紙撮影の様子を初めて見学しました。松田にとつての初めての雑誌取材が、いきなりの表紙登用ということで最初は緊張していましたが、編集長の今坂氏にカメラマン井上六郎氏、フリーライター田中苑子氏が見事に現場を盛り上げてくださり、松田も徐々に表情が和らぎました。後半は松田も撮影にその出来栄は、ぜひ本屋にて掲載五月号をお確かめの上お買い上げのほどよろしくお願いたします！ 合言葉は「Ready Go（五）号」です（照）。

緊急トピック！ R G J 松田選手 月刊バイシクル クラブの表紙を飾ることに！